

サクラソウ日記

(自分に自信と夢を~いまをだいじに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

＜サクラソウ日記：由来＞

3月に行われた卒業式の日、体育館で静かに卒業生を見送ったサクラソウ。6月下旬におよそ0.1mmの大きさの種を蒔き、苗を作ります。そして10月ごろ、植木鉢に移植して、花が咲くように育てます。今年も5月には種を収穫し、来年の春の開花を目指します。サクラソウは日々の積み重ねのモデルです。通信の題名には日々の積み重ねを大事にという願いを込めています。



次の世代へ。今年もありがとう
(2024/4/12 撮影)

158名のなかま 9日：入学式

9日(火)、新たに158名の1年生が入学しました。たくさんのお祝いの言葉に一言一言にうなずき、時には「はい」「ありがとうございます」と話を聴く姿はとても微笑ましく立派な姿でした。

式辞の中では、次のことを話しました。

- 命を大切にすること→命は自分で守ること
- なかまを大切にすること

→「あいさつをする」「時間を守る」「話を最後まで聴く」：相手を大事にする第一歩

これは、在校生、職員にも同ように常日頃から話していること。全員で取り組んでいきます。

また、在校生を代表して児童会の岩下明愛さんが歓迎の言葉を述べました。一人一人の目を見ながらはっきりと丁寧に語りかける岩下さんの姿は、大津小で学ぶ子どもたちの「未来像」。1年生が5年後、こんな姿に成長してくれることを願いながら毎日を過ごしていきたいものです。



【岩下さんの歓迎の言葉と1年生】

十文字山? 校歌にでてくる十文字山って?

学校で行われる式典では、国旗を掲げ国歌・校歌を歌います。(感染症対策下ではこの日常の光景も見ることができない時期もありました)

本校の校歌は昭和10年に作られました。その2番は「十文字山の群つつじ」で始まりますが、この「十文字山」ってどこ?

このことについて、先日、松阪孝さん(元・学校運営協議会委員)から情報をいただきました。

正解は「日吉神社」がある小高い丘とのこと。改めて知る、校歌の由来でした。



【由来：松阪孝様から提供いただきました】